

<http://www2.ocn.ne.jp/~antijpj/nomura/23.Aug.2007.html>

====日本語原文====

カトリック教皇庁
駐日大使
アルベルト・ボッターリ・デ・カステッロ大司教 閣下

2007年8月23日
カトリック東京大司教区
清瀬教会
牛島孝彦

カトリック横浜司教区
山手教会
野村勝美

† 主の平安

日本カトリック正義と平和協議会
Japan Catholic Council for Justice and Peace
<http://www.jccjp.com/>

において、「司教団を支持する教皇大使のメッセージ」として閣下の下のメッセージが発表されています。

挨拶文抜粋

最近成立した、新しい「教育基本法」と、「日本国憲法の改正手続に関する法律」は、日本国内だけでなく世界の多くの国々においても、多くの人々の懸念を引き起こしています。

人々は、言論の自由や信教の自由が損なわれることや、戦争放棄（それは日本国憲法に記され、多くの人にとって、人類が紛争解決のために暴力を用いないことへの希望と祈りの象徴です）が、人類の利益にとってそれほど重要でないことに取って代わられることを心配しています。

皆様は、政教分離の原則、憲法九条が日本だけでなく他国に対してももつ価値、そして平和のために働くことの重要性について、さまざまな明確な声明を出してこられました。これらはまことに称賛すべき勇気ある声明です。わたしはこの機会に、これらの声明と、平和と社会の一致を守るための皆様のご努力をわたしが支持することを確認させていただきたいと思います。

この平和のおかげで、日本の教会は発展し、日本も過去 50 年以上の間繁栄できたからです。多くの人が、今、明確な方向づけと勇気ある指導を期待しています。わたしは皆様の最近の声明が日本の未来と世界平和に関心をもつすべての人から大いに歓迎されることを確信しています。

The new laws on education and those facilitating changes in the Constitution of Japan that have been passed recently have given rise to concern among many people, not only in Japan, but in many countries around the world. People fear that freedom

of speech and of religious expression will be undermined, and the renunciation of war which for many people is enshrined in the Japanese Constitution, and which for many people is a symbol of their hopes and prayers that human beings will not resort to violence to settle conflicts, will be replaced by something less important for the benefit of humanity. You have made very clear statements on the principle of the separation of Church and State, the value of Article Nine not only for Japan but for other countries also, and the importance of working for peace.

These are indeed laudable and courageous statements. I wish to take this opportunity to assure you of my support for these statements, and for your endeavors to preserve the peace and social harmony which has enabled the Church to flourish, and Japan to prosper during the past fifty or more years. Many people are looking for clear direction and courageous leadership at this time, and I am sure your recent statements will be very welcome by all those concerned about the future of Japan and peace in the world.

但しこのメッセージは「挨拶の一部」「抜粋」と前置きされています。
つきましては、

1. 「全文」がどのようなものであるのか、是非とも拝読させて頂きたい。
2. この抜粋されたメッセージを読む限り、日本のカトリック信徒に、大きな分裂をもたらすものと思います。
 - 1) 憲法改正を支持する多くのカトリック信者がいます。
 - 2) 教育基本法改正に尽力した山谷えり子首相補佐官はカトリック信徒であります。
 - 3) また麻生外務大臣もカトリック信徒であり、当然教育基本法改正賛成、憲法改正賛成であります。
3. 大使閣下のこのご発言は、この部分のみをみれば、明確な内政干渉であります。“国権の最高機関”である我が国の国会で成立したものを大使として非難するのは、極論すれば日本国民への侮辱であると考えます。
4. 「世界の多くの国々においても、多くの人々の懸念を引き起こしています」について。
 - 1) その具体的事例を教えてください。
 - 2) 他国の評価を自国の法律に加味しなければならぬ根拠を示して頂きたい。併せて、そのようにしている国と具体例があれば、教えてください。

(以上)